

何か変と将来の服部商店

小生は大阪の下町の住之江区に住んでいます。小生の周りは開発が凄く遅れた地域です。しかし今年改正された相続税の影響が解りませんが、急速に開発が進んでいます。

戦後建てられた、火災の心配が残る木造の長屋が今でも多く残り、東南海地震が心配される状況では開発自身を駄目だと言うつもりは有りません。しかし直近の5年先の不動産の需給バランスの予測では、東京オリンピックが終わった後、30%相当の不動産価格下落が有ると言う事を専門家が指摘しています。

と言う事は、現在の状況はミニバブル状態であることの証拠ではないかと思えます。又最近多く建てられているサブリースの賃貸住宅の危うさを指摘する専門家のお話を聞いたこともあります。

相続税増税は、消費税・所得税等の増税より、現在の成熟した日本国の経済活動に一番負担が少ない租税方法だとエコノミストがテレビで発言しているのを多数聞いていますが、本当に正しい政策だと小生は全く思いません。

又規制緩和が現在の日本国内の経済対策だと盛んに言われていますが、何か違和感を覚えるのは小生だけでしょうか。

現在の日本は一年に20万人ずつ人口が減ってきています。又老人の割合が子供の割合より多い逆ピラミッド型社会を迎えています。戦後取ってきた住宅政策が曲がり角にきているのではないのでしょうか。

相続税を含む資産の税制改正では相続から贈与にインセンティブを与える事で早くから老人から若者に所得の移転を図ろうとする国の政策は解りますが、それが出来るのは極限られた一部の方だけではないのでしょうか。

人口減少社会と言う事は住宅が余る事です。余る事が解っていても現在と同じ住宅政策を取るのは凄くおかしいと考える小生は間違っているのでしょうか。

小生は政治家でも評論家でも有りません。一般人です。又、服部新聞で今の住宅政策をこんな形にしたら良いのではないかと言う考え方は有りますが、今述べるつもりは有りません。

しかし、いま感じている事が間違っているのかは、是非皆様に教えて頂きたいと思えます。理由は服部商店の目指す方向『日本一の品質の材を扱い最高の物を提供する。お客様の先のお客様はお客様であり、妥協しない物づくりを目指す』が本当に正しいのかを知りたいからで有ります。

成熟社会では、量から質への転換が、国民全体の幸福に繋がると言われています。その中であって真の材木屋の姿を想像しています。

最高の木材を提供するためにはそれなりの準備が必要です。色んな用途に耐えうる在庫が必要ですが、その変化に対応出来る在庫にする為の改革を5年位前から進めていますが、外部環境の大幅な変化『天然資源の大幅な価格上昇』に合い翻弄されています。しかし立ち止る訳にはまいりません。

服部商店の現在推し進めている事を下記に御説明します。

- 1、ナラ材等の大幅に価格が上昇している材の代替材の提案。
- 2、仕入先の変更をより少しでもリーズナブルな価格の実現。
- 3、生産性の向上。
- 4、未開拓材の開発。
- 5、扱い材の変更と新たな木製品の開発。
- 6、無借金経営の実現。

現在色んな会社内部の改革を進めています。この改革の成功の是非は5年先の不動産価格の下落にも耐えられる構造改革に結びつくと思っています。それは小生が現在一番考えている後継者問題とリンクしています。もし上記の事が実現できれば、服部商店は凄く面白い会社になれるものだと確信しています。

我が家の庭

我が家に野生動物が戻ってきました。凄く嬉しいことです。その動物の名前はヒヨドリと言うのだと家内から聞きました。資料はウィクペディアからお借りしました。



庭にある椿の木の中に巣があるのですが、写真で解るように雨対策で傘が木に設置しているのが解ると思います。これは家内のアイデアです。木の隙間から巣に入る雨の滴を防ぐことが出来て子育てにも役に立つことでしょう。



つ有るのに逆行するように思えます。

小生の住まいの周りは再開発が盛んに行なわれて現在は決して物静かでは有りませんが、この環境を大事にする事を小生に暗示している様に思えるのです。今住んでいる住まいは昭和 62 年に亡き父親が建ててくれた大建ホームのツーバイフォー住宅です。建ててくれた当時は大阪市内でも珍しい教育環境も整った素晴らしい下町でした。逆に言うとな変化を望まない保守的な地主が多くいる、開発の凄く遅れた地域です。古い長屋を途中で切り取って改造した地震に凄く危ない木造住宅が残る地域です。その地域が相続税の改正等の為に町並みが変わろうとしているのです。

再開発その物に反対はしませんが、行き過ぎた開発は、高度経済成長時に我々が痛めてきた自然環境が現在戻りつ

鳴き声は「ヒーヨ! ヒーヨ!」などと甲高く聞こえ、和名はこの鳴き声に由来するという説がある。

日本では周年見られるが、春および秋には渡りが各地で確認される。秋には国内暖地へ移動する個体も多く、10-11 月には渡りが日本各地で観察され、房総半島南端、伊良湖岬のほか、[関門海峡](#)では 1,000 羽を越えて渡る群れも観察される。

果実や花の蜜を食べる。繁殖期は果実に加え[昆虫類](#)も多く捕食する。非繁殖期は果実([センダン](#)や[イギリス](#)、[カキ](#)、[ヘクソカズラ](#)など)がほとんどである。[ツバキ](#)などの花の蜜を好む。早春にはツバキの木の近くにずっと陣取って、花の蜜を求めてくるメジロなどを追い払う姿をよく見かける。

見てください・再開発の下町・西住之江地域



銀行の社員寮跡の再開発現場です。小さく分筆され建売り住宅が建ちます。↑

15階建ての分譲マンションが建ちます。↓



古い木造住宅が安全な木造住宅に生まれ変わる数少ない物件



人口減少社会が急速に進み、全国的に空き家が800万戸を超えたわが国に本当に必要な住宅政策を考える時期に来ているのは間違いないと思います。

我が家の周囲半径500メートルには再開発が少なくとも10数カ所で計画されたり、実行されています。つまり大きく町が変わろうとしています。10年先に素晴らしい町並みになる事を期待しています。

展示即売会の御知らせ



オハイオ州産のライトパープルカラーの優良材です。

又春に製材したホワイトオークも是非見に来て下さい。この商品は速かったら10月末に人工乾燥を施した後販売する予定です。又服部商店の新しい取組み白いレッドオークも見に来て下さい。この商品は年末に人工乾燥を施した後販売予定です。↓

展示即売会の開催日程のアンケートに多数回答頂いた事に感謝を致します。

7月12日～13日の日程で第10回服部商店木材展示即売会を開催することを決定しました。

左記は昨年11月に催した第8回木材展示即売会の写真ですが、今回は展示内容を変えて行いますので是非ご来場してください。

目玉商品はブラックウオールナット材の幅広材(生材)です。



又ごく一部の方しか販売していなかった服部商店の会員制ページの材も多数在庫があります。一般の方にも購入できるように皆様に見て頂いて購入出来ます。是非ご来場してご購入下さい。

下記に今回の目玉商品の一部をご紹介します。頂きます。

- 1、現在輸出が制限されているチーク材の最高級材の板。
- 2、高騰しているロシア産ナラ材。
- 3、品不足感を生じていますロシア産タモ材。
- 4、ホワイトオーク・ナラ・ブラックウオールナット材の薄板→又展示即売会のプレゼントも用意しています。



抽選で50名様当たる!

世界の無垢材の置き時計

お買い上げプレゼント

『世界の無垢材の置き時計』

『抽選で20名様に当たる』

FAX 072-422-8577



木材のアンケートをお願いします

1、設計の現場では色々な樹種が必要です。用途も大事だが価格帯も重要な要素でもある。

はい

いいえ

2、予算が合わない場合使える無垢材の変更を行なう。例えばナラからレッドオークへの変更等の。

はい

いいえ

3、いいえの方をお願いします。予算が合わない場合無垢材から工業化部材への変更が多い

はい

いいえ

4、その他ご要望が有ればご記入下さい。

会社名	
担当者名	
〒と連絡先ご住所	
お電話番号	
FAX 又はメールアドレス	

〒 596-0011

大阪府岸和田市木材町 16-1

（株）服部商店

T E L 072-438-0173.0511

F A X 072-422-8577

E-mail info@hattoriwood.co.jp